

平成30年第1四半期・熊本県宿泊客数動向調査結果

県内主要39ホテル・旅館について、平成30年第1四半期(1月～3月)の宿泊客数動向調査の結果を取りまとめました。

※通常は対前年のみで比較していますが、平成28年4月に発生した熊本地震後の影響もあるため、対前年(平成29年)同期比、対前々年(平成28年)同期比の2ヶ年を掲載しています。

全 体	： 対H29年同期比	99.9 %
	(対H28年同期比	84.8 %)

○ 国内客 : 対H29年同期比 91.9 % (H29/1月:102.7% 2月:90.6% 3月:85.4%)
(対H28年同期比 84.8 %) (H28/1月:83.6% 2月:85.6% 12月:85.2%)

※ 熊本地震前の状況と比べると、回復しきれていない状況である。

H29年1～3月は「阿蘇(中部・南部)応援ツアー」や県内自治体が発行した旅行券等の施策により、特に関西地区からの客が多かったが、その反動で各地域とも関西方面からの客数の落ち込みが目立っている。

また、寒冷等に伴う団体旅行のキャンセルや、バスチャーター代高騰に伴う団体客の減少もあり、客足が伸びなかった。

○ 海外客 : 対H29年同期比 122.2 % (H29/1月:126.8% 2月:120.6% 3月:120.0%)
(対H28年同期比 84.9 %) (H28/1月: 82.6% 2月:81.3% 3月: 90.7%)

※ 高い水準で推移していたH28年同期と比べると84.9%と完全回復には至っていないが、順調に回復基調となっている。

熊本地震後に運休していた韓国からの定期便2路線等の国際路線が復活したことも、観光客増加に寄与している。また香港線のチャーター便が運航したことに団体客が増加した。

《参考》

国際線の運航状況

- ・台湾線 → H28.6/3より運航開始(火・金・日の週3往復)
- ・韓国線 → H29.4月よりティーウェイ航空定期便運航開始(月・水・金・日の週4往復)
※H29.1/6～3/1 チャーター便運航
H29.10/29よりエアソウル定期便運航開始
※H29.4～10月 チャーター便運航
- ・香港線 → H29.11～H30.3 チャーター便運航(木・日の週2往復)

1月～3月	対H29年比 (%)	対H28年比 (%)
国内客(計)	91.9	84.8
うち九州地方から	93.0	85.8
うち関西以西から(※1)	76.5	71.9
うちその他の地域から(※2)	99.0	90.6
海外客	122.2	84.9
合 計	99.9	84.8

※1 近畿・中国・四国地方

※2 北海道・東北・関東・中部・沖縄地方

【お問い合わせ先】

熊本県観光物産課 清塘(きよとも)・鈴木
TEL 096-333-2332 内線5205